

## 委員長

名古屋工業大学大学院教授

**山本 幸司** やまもと こうじ

この3年間、中部の未来創造大賞への応募数が減少傾向にあることは残念であるが、一次審査に合格した13事案については、選考委員が手分けして現地調査にお伺いした際の関係者からのご説明にも熱が入り、日頃の積極的な活動を理解することができた。表彰枠数に限りがあるため、惜しくも選外となった応募事案の関係各位には申し訳ない思いが募るが、今後とも活発な活動を継続して頂くことを切にお願い申し上げます。

## 副委員長

三重大学名誉教授

**渡邊 悌爾** わたなべ ていじ

応募件数は減少したが、受賞された活動は質的に優れたものが多かった。小学校を拠点とする地域コミュニティの優れた活動や地域をフィールドにした高校生の活動には、「新しい公」の主体として持続的に発展させて欲しいと今後に期待を寄せるものである。

## 委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

**竹内 礼子** たけうち れいこ

現地調査に伺った団体は地元  
の素材を生かした活動で、地域に  
対して波及効果を生んでいる。特  
に地域の教育力を見せてくれた  
活動が印象的だった。まだまだ立  
派な活動が各地で行われている  
ので、本賞が励ましの意味になる  
ようさらなる発掘を期待する。



# 選考を終えて (表彰委員より)

## 委員

中日新聞論説委員

**前田 弘司** まえだ こうじ

応募件数は減少しても、昨年・本年と続き特色のある活動が応募されたのは嬉しい。とくに、高校生が地域と密着しながらユニークな成果をあげているのは、特筆すべきである。若い人々の活躍を今後とも期待したい。

## 委員

名古屋大学大学院教授

**森川 高行** もりかわ たかゆき

今回初めて審査委員をやらせていただいたが、応募案件はどれも地域の皆さんの熱意が大いに感じられて好印象であった。受賞案件は何年もかけて改善を積み重ねてきたものが多く、やはり継続力と向上心が重要と感じた。今後、学生や現役労働者を中心とした取り組みがもっと増えることを期待したい。

## 委員

(社)中部経済連合会専務理事

**伊藤 範久** いとう のりひさ

今回は応募件数が昨年より減少したものの、各地で展開されている活動は、いずれも設定した目的を目指して地道かつ真摯に取り組まれており、その姿勢には改めて敬服させられるばかりです。

各団体の今後の活動がますます発展され、より良い地域づくりにつながることを祈念いたします。

## 委員

中部地方整備局長

**足立 敏之** あだち としゆき

東日本大震災に見舞われた年ですが、高校生、大学生といった「次世代を担う若い力」が核となって学校や住民の方々と協働する取り組みが進められており、中部の未来に明るい希望が持てました。こうした取り組みが、この中部いっばいに広がっていくことを期待します。

## 中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人  
水資源機構 中部支社

地方共同法人  
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人  
都市再生機構 中部支社

社団法人  
土木学会 中部支部

社団法人  
中部建設協会

社団法人  
日本建設業連合会 中部支部

社団法人  
建設コンサルタンツ協会 中部支部

社団法人  
長野県建設業協会

社団法人  
岐阜県建設業協会

社団法人  
静岡県建設業協会

社団法人  
愛知県建設業協会

社団法人  
三重県建設業協会

中日新聞社

後援/社団法人  
中部経済連合会